

北海道ファミリーハウス (財) さわやか福祉財団

勤労者ボランティア・ナイスパートナー賞受賞

平成十七年二月十九日、東京において厚生労働省が事業として進める勤労者マルチライフ支援事業の平成十六年度顕彰式(金田耕二事務局長出席)が開催され、実施団体の(財)さわやか福祉財団・勤労者マルチライフ支援センターから北海道ファミリーハウスが「ナイスパートナー賞」を受賞しました。

「マルチライフ」とは、勤労者がボランティア活動や趣味、スポーツ、生涯学習など様々な社会活動に参加し、「個」の確立をはかり、職場以外にも多種多様なつながりを持つライフスタイルを意味するもので、この度受賞したナイスパートナー賞は、勤労者とボランティア活動を積極的にコーディネートしたり、受け入れている団体を審査の対象としたものです。

ファミリーハウス運動は、施設を提供いただいているオーナーの皆さん、ホテル企業の皆さん、会員として運営費を寄付いただいている皆さん、運営の実務にあたるボランティアの皆さん、それぞれの協力のうえにたつて受賞することができました。これまでの皆様のご協力に感謝するとともに、引き続きこの活動を通じて社会に貢献できるよう努力して参ります。



北海道から顕彰式に出席した皆さん



堀田理事長から賞を受ける金田事務局長



ボランティア活動事例集として本にまとめられました
ご希望の方は、
<http://www.volunteer-net.jp/>
をご覧ください



■勤労者マルチライフ支援事業とは

勤労者マルチライフ支援事業は、勤労者が、地域社会に自分の居場所を築き、「仕事と生活の調和」がとれた働き方を実現していくために、経営者団体・社会福祉協議会・ボランティアやNPOを支援する中間支援団体(NPO法人)が協働して、勤労者の社会参加・ボランティア活動への参加を推進していくことを目的とし、厚生労働省が提唱し(財)さわやか福祉財団が運営の中心を担っています

■勤労者ボランティア・ナイスパートナー賞選考基準

勤労者ボランティア活動を積極的にコーディネートしたり受入れている団体、または、勤労者が参加しやすいプログラムを開発している団体であつて、勤労者マルチライフ支援事業に理解と協力ある団体

「ボランティアが支える

ふっくらとした地域社会を」

■北海道経営者協会 勤労者マルチライフ支援事業■



中村達也
プロジェクト
マネージャー



飯島俊雄
プロジェクト
マネージャー

「ふっくらとした」この言葉を、『さわやか福祉財団』理事長・堀田 力さんが、機会ある毎に繰り返しています。その趣意は、これからの日本の社会が、少子・高齢化そして人口減という現実に向き合っていくときに、地域社会の誰しもが誰かを支える、誰かに支えられるという優しさが不可欠だということを訴えているものなのです。そのために、勤労者としての現役時代からボランティアを通して社会参加できる仕組みづくり、それが

「勤労者マルチライフ支援事業」なのです。
「北海道ファミリーハウス」さんは、この事業に呼応している活動として認められ、過日全国表彰されました。これからも、「ふっくらとした地域社会」が広がっていくための先駆的な役割を担って行って欲しいと願っています。

